

FACTS 履修要項

1. FACTS の概要

FACTS (Fieldwork for Active Comprehension of Targeted Subjects) は、産業、企業、地域、社会等を対象に、インタビュー調査、現地・現場観察調査などにより対象と直接接し実態を把握することを通して、経済を論理的に把握する能力を養うことを目的としたプログラムです。FACTS でいう「Fieldwork (実態調査)」とは、インタビュー調査のほか、一次資料 (史料) 収集・現地観察など、対象と直接接する、あるいは対象を (直接またはリモートで) 訪ねる行為を広く含んでいます。現実のビジネスの場において、経済・経営に関する既存の一般理論をふまえることは大切ですが、それだけで課題を解決することには必ずしもなりません。課題解決の方法は時代や地域によって異なり、限定的な情報、個別具体的な事実から論理を構築して解を導くことが求められます。グローバル化はすべての地域が単一の方向に向かうことを意味するわけではなく、一般化された理論が適用可能な領域は限られているともいえ、地域的ないし時代的な固有性をふまえた固有の論理構築が必要とされているのです。FACTS では、こうした要求に応えるため、対象と直接接して実態を把握し、対象の固有性をふまえたうえでそれを論理的に把握する能力を身につけます。

2. カリキュラム、修了要件

FACTS のカリキュラムは、以下の3つの科目群で構成されます。

1. 日吉設置科目(タイプB:12 単位以上、タイプA:16 単位以上)
 - i. 必修 (修了に必要な単位には含めない)
タイプB: 日本経済概論、歴史的経済分析の視点、経済史概論
タイプA: 経済史入門
 - ii. 選択必修 (タイプAB 共通: 4 単位以上)
フィールドワーク論、社会問題、経済と環境
 - iii. 総合教育科目等 (タイプB: 8 単位以上、タイプA: 12 単位以上)
日吉学 (教養研究センター設置)、地域研究 (各地域)、地域文化論 (各地域)、
地域文化論 I・II・III・IV (各地域)、比較文化論 I・II、地理学 I・II、文化
人類学 I・II、文化人類学 (PEARL)、心理学 I・II・III・IV
2. 三田設置科目 (タイプAB 共通: 卒業論文提出者は卒業論文以外で 12 単位以上、研究
プロジェクト論文提出者は研究プロジェクト論文以外で 14 単位以上とする)
研究会、研究プロジェクトの研究テーマに即して歴史・社会系または産業・経済系のコ

ースを選択し、そのコースに指定された科目を履修する。

i. 基本科目（タイプ AB 共通：4 単位以上）

歴史・社会系コース

D 経済史

日本経済史 a,b、欧米経済史 a,b、アジア経済史 a,b

I 環境関連

経済地理 a,b、環境経済論 a,b、都市経済論 a,b、ECONOMY AND ENVIRONMENTAL LAW

J 社会関連

人口論 a,b、産業社会学 a,b、社会史 a,b

F 制度・政策

経済政策論 a,b、日本経済システム論 a,b、財政論 a,b、金融論 a,b、ECONOMICS OF REGULATORY REFORM

産業・経済系コース

E 産業・労働

工業経済論 a,b、労働経済論 a,b、農業経済論 a,b、社会政策論 a,b、産業組織論 a,b

G 現代経済

現代日本経済論 a,b、経済体制論 a,b、日本資本主義発達史 a,b、現代資本主義論 a,b

H 国際経済

国際貿易論 a,b 国際金融論 a,b、経済発展論 a,b

F 制度・政策

経済政策論 a,b、日本経済システム論 a,b、財政論 a,b、金融論 a,b、ECONOMICS OF REGULATORY REFORM

ii. 特殊科目・関連科目

歴史・社会系コース

近代日本と東アジア a,b、東欧経済史 a,b、現代日本経済史 a、経済史（英語）、日本経済史各論（英語）、アジア経済史各論、東南アジア経済史、日本史史料講読 a,b、戦争と社会、日本社会史 a,b、社会福祉論

産業・経済系コース

開発経済学 a,b、格差と援助の経済学 a,b、世界経済論 a,b、グローバル人材マネジメント、国際的視点から見た日本経済

3. 研究会（卒業論文）（4単位）または研究プロジェクトC（2単位）

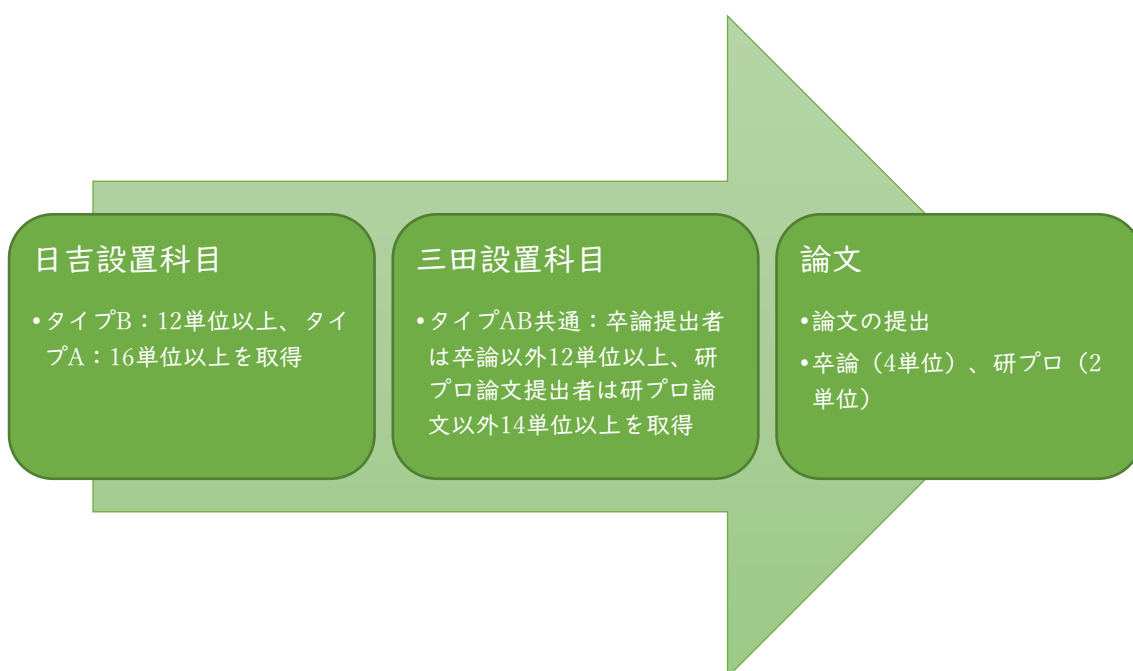
1.2. の必要単位を取得したうえで、3. の研究会（卒業論文）または研究プロジェクトCの論文を提出することで修了証が授与されます。論文の内容は次のガイドラインに沿っている必要があります。詳細は、FACTS コーディネーターまで問い合わせてください。

論文ガイドライン

研究会の卒業論文および研究プロジェクトの論文がFACTSの認定を受けるためには、以下のガイドラインに沿っていなければならない。

1. 産業、企業、地域、社会等における個別的・具体的事象への関心を基礎に実証的な分析が行われていること。
2. 論文執筆にあたって、インタビュー調査のほか、一次資料（史料）収集・現地観察など、対象と直接接する、あるいは対象を（直接あるいはリモートで）訪ねるなど、「フィールド（実態）」調査（フィールドワーク）を分析手法として重視し、実際に実施していること。

FACTS 履修のフローチャート



3. 対象学生

2023年3月卒業者以降のタイプAB生が申請可能です（プログラムの性質上、主にタイプB生を対象としていますが、タイプA生の履修も歓迎します）。

*PEARL生は2023年度以降に申請可能となる予定です。

4. 申請要領

- 申請時期：原則として、FACTS修了要件を満たした直後の成績発表後とします。ただし、3年終了時に申請を行わなかった場合、4年終了時での申請も可能です。また、4年終了後、卒業とならない場合でも、FACTS修了要件を満たしていれば申請を受け付けます。

初回の申請は2023年3月に受付予定です。指定科目の単位は2021年度以前に取得したのも有効とします。

- 申請方法：所定フォーム経由（詳細は後日掲載）
- 提出書類（予定）：所定申請書、学業成績表、成果物（詳細は後日掲載）

5. 問合せ先

FACTS コーディネーター facts-econ-group(at)keio.jp

カリキュラムの概要や修了要件などについての質問も受け付けています。

*迷惑メール対策のため、メール送信の際は(at)を@に置き換えてください。